

# 総括表・切替理由書の記載要項

⑧ 給与支払報告書(総括表)		徴収区分	固 定 番 号
令和 8 年 1 月 20 日 提出		1234567	
①	給与の支払期間	令和 7 年 1 月分から 12 月分まで	
②	給与支払者の個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 9	
個人番号は右詰で記入してください			
③	414-8555 414-9999 静岡県伊東市大原 2 丁目 1 番 1 号 伊東市桜木町 2-6 75-5		
	カブ イトウショウジ		
株式会社 伊東商事			
④	所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業所の名称		
⑤	同上		
⑥	給与支払者が法人である場合の代表者の氏名		
⑦	代表取締役 伊東 桂		
⑧	連絡者の氏名・所属課・係名及び電話番号		
⑨	小室 五郎		
⑩	(電話) 0557-36-0111		
⑪	開与税理士等の氏名及び電話番号		
⑫	温泉税理士事務所		
⑬	(電話) 0557-32-1272		
⑭	納入書の送付		
⑮	○・不要		

## 個人住民税の普通徴収への切替理由書

指 定 番 号	給 与 支 払 者 の 氏 名 又 は 名 称	
1234567	株式会社 伊東商事	
普通徴収として取り扱うべき給与受給者の人数と切替ごとの内訳は下記のとおりです。		
略 号	切 替 理 由	人 数
普 A	総受給者数(事業所全体の数から普B~普Fを除いた数)が2人以下	人
普 B	他の事業所で特別徴収・普通徴収として扱う乙欄該当者	1 人
普 C	給与が少ない額が引ききれない(例:給与支払金額が1,065,000円以下)	2 人
普 D	給与の支払金額が毎月一定でない(例:給与支払金額が毎月5,000円以下)	9 人
普 E	普通徴収として扱う事業専従者(個人事業主のみ該当)	人
普 F	退職者・退職予定者(予定期は5月末日を日安)	1 人
必ず一致させる		13
普通徴収対象者合計人数 (総括表の報告人員のうち、普通徴収対象者の人数と一致すること)		17

切替理由書

①	<b>給与の支払期間</b> 通常は 1 月から 12 月と記入します。
②	<b>給与支払者の個人番号又は法人番号</b> 給与支払者が個人事業主の場合は、個人番号を左側 1 文字分空けて記入してください。
③	<b>給与支払者の所在地(送付先)、給与支払者の氏名又は名称</b> 伊東市登録の所在地(送付先を設定している場合は、送付先)を印字しています。変更がある場合は、二重線を引き、余白に正しいものを記入してください。
④	<b>所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業所の名称</b> 本社以外の支店や営業所で給与事務を行っている場合、名称を記入してください。
⑤	<b>給与支払者が法人である場合の代表者の氏名</b> 代表者の氏名(給与支払者が国の機関であるときは、経理責任者の職・氏名)を記入してください。
⑥	<b>連絡者の氏名・所属課・係名及び電話番号</b> この報告書について応答する方の氏名・部署・電話番号を記入してください。
⑦	<b>開与税理士等の氏名及び電話番号</b> 税理士等が報告書を作成する場合に、問い合わせ先となる税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。
⑧	<b>事業種目</b> 事業種目を簡潔に記入してください。(保険代理業・自動車整備業等)
⑨	<b>受給者総人員</b> 全市区町村(伊東市以外を含む)に提出した給与支払報告書の人数を記入します。
⑩	<b>特別徴収対象者</b> 伊東市へ提出した給与支払報告書のうち、特別徴収を行う従業員の人数を記入します。
⑪	<b>普通徴収対象者[退職者・退職者を除く]</b> 伊東市へ提出した給与支払報告書のうち、普通徴収を行う従業員の人数を記入します。切替理由書の普通徴収対象者合計人数⑯と一致します。
⑫	<b>報告人員の合計</b> ⑩と⑪の合計人数を記入します。
⑬	<b>所管税務署</b> 会社の所在地を所轄する税務署名を記入します。伊東市の場合は、「熱海税務署」となります。
⑭	<b>給与の支払方法及びその期日</b> 月給、週給等及び毎月 20 日、毎週月曜日等と記入してください。
⑮	<b>納入書の送付</b> いずれかに○を付けてください。
⑯	<b>人数(切替理由書)</b> 普通徴収を行う従業員数を切替理由ごとに記入してください。その際、各々の従業員の給与支払報告書の備考欄に略号を記入します。
⑰	<b>普通徴収対象者合計人数(切替理由書)</b> ⑯の合計人数を記入します。総括表の⑪に記入した普通徴収対象者の人数と一致します。